

## 御挨拶

令和8年4月より、大島町立つばき小学校の校長として新たに着任いたしました木村順子と申します。

本校は、島を代表する花である「椿」を校名とし、元町地区・野増地区の学校として島の中心部に位置しています。令和8年度は、「明るく思いやりのある子」を学校目標とし、以下の重点課題に取り組んでいきます。

- デジタルを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
- インクルーシブ教育システムの推進
- 凡事徹底
- 少人数指導による学力の充実
- 副担任等を活用した学年団での支援

ここ伊豆大島は古くから、自然との共生を図りながら営んでいる土地の特性があります。豊かな自然の恩恵を受けると共に、幾多の自然災害と闘ってきました。本校の校庭からは、御神火と崇められている活火山の三原山外輪山を臨むことができますが、1986年の大噴火では元町地区に溶岩が流れ、全島民が避難しました。また、2013年の台風による土砂災害も元町地区で発生しています。今後も子供たちの安心安全に努め、大島町や関係機関と連携しながら防災対策を強化していきます。

今年度は、本地域で例大祭が9年ぶりに行われる予定です。これまで築かれてきた伝統を引き継いで、郷土大島の地域に根差した教育活動を行って参ります。子供たちの学びが「互いに共鳴する学校」となるようチーム学校で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月吉日 大島町立つばき小学校校長 木村 順子

